

平成 22 年 12 月 7 日

各 位

住 所 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
会 社 名 GMOインターネット株式会社
代 表 者 代表取締役会長兼社長グループ代表
熊 谷 正 寿
(コード番号 9449 東証第一部)
問 い 合 わ せ 先 専 務 取 締 役 安 田 昌 史
グ ル ー プ 管 理 部 門 統 括
T E L 03-5456-2555 (代)
U R L <http://www.gmo.jp>

「Android やろうぜ! byGMO」プロジェクトの一部がグリーに採用
(Android アプリマーケット事業の進捗状況に関するお知らせ)

当社と株式会社アクロディア (以下、アクロディア) が進める「Android やろうぜ! byGMO」プロジェクトの一部が、グリー株式会社 (以下、グリー) の「GREE Platform for smartphone」に採用されましたので、お知らせいたします。

記

当社は、平成22年10月14日に発表いたしましたとおり、アクロディアとの合同プロジェクトとして、現在、コンテンツプロバイダー様やクリエイター・エンジニアの皆様が、Android 端末市場へ早く、安く、安全に参入いただくための支援を行う、「Android やろうぜ! by GMO」プロジェクトを推進しております。

本プロジェクトでは、マルチOS、マルチデバイス対応の開発ツール「VIVID Runtime®」の無償提供や、iPhone®からのアプリの移植・開発サポートといった技術開発面支援を行うだけでなく、アプリ市場における問題点を解決し、コンテンツプロバイダー、クリエイター・エンジニアの皆さまが安心してアプリを公開できる場として「@GMOゲームセンター」(Gゲー)の提供など、様々な支援を行っています。

こうしたなか、本プロジェクトの開発支援の1つである「VIVID Runtime® SDK」※がグリーの「GREE Platform for smartphone」の推奨ミドルウェアに認定されました。

これにより、グリーの開発パートナーは、「VIVID Runtime」を活用した Android 向けアプリの開発が可能となります。

※「VIVID Runtime SDK」について

通常、複数の OS 環境に向けてアプリケーションを開発する際には個別に開発する必要がありますが、本 SDK を利用して開発されたアプリケーションは OS 別に開発し直す必要なく、複数の OS 環境で動作します。開発者は Android、Windows Mobile、BREW、Symbian などの OS に対して互換性を持たせた展開をすることができ、結果として短期間、低コストでのゲーム・アプリ開発が可能となります。

【関連 URL】

- 「アンドロイドやろうぜ! byGMO」公式サイト URL : <http://android-yarouze.com/>
- @GMO ゲームセンター (G ゲー) URL : <http://gmo-game.com/>

なお、平成 22 年 12 月期の業績予想への影響につきましては、現時点において軽微と考えております。

以 上

- 「Android」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 「iPhone®」は、Apple Inc.の商標です。iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- 「VIVID Runtime」は、アクロディアの登録商標です。